

留学先国名 : アメリカ

留学先学校名 : College of Charleston

留学期間 : 平成 28 年 8 月 20 日 ~ 平成 30 年 5 月 12 日

留学中に学んだことは数え切れないほどあると思います。

一つ目は、常に自分が日本人であるという自覚を持つことです。留学開始から感じていたことですが、帰国が近づくにつれてより意識するようになりました。留学していると、アメリカの生活に慣れすぎて日本語の使い方がおかしくなってしまう日本人の学生がたまにいます。漢字が書けなくなっていたり、日本語で話しているのにカタカナ英語のようなものが混ざっていたり、とても聞いていて違和感があるときがあります。日本で就職しないからいいや、と考えるのではなく自分の母国語である日本語も大切にしないといけないと私は考えます。

留学中の学生のよくある悩みで日本人とばかり固まったり、アメリカ人とだけ常に一緒にいて他の日本人との関係が悪くなったなど聞くことがあります。私はバランスが一番大切だと思います。留学中に現地の学生や他の留学生と交流して言語を学び文化を共有することはとても大切です。ですが自分自信に他の日本人から距離を保たなければいけないなどと考え、余計なストレスを与える必要も無いと私は思います。どれだけ言語が流暢に話せても私たちがアメリカ人に 100 パーセントなることは不可能だと思いますし、挑戦する必要もないと私は考えます。自分のアイデンティティを確立させ常に自分が誰であるのか、自信を持ち続けることが大切だと私は考えます。

留学生活を通して自分自信を持つということの大切さを痛感しました。アメリカ人は日本人と比べて自己主張もはっきりしていますし、流されてしまいそうになるときもあります。はっきりとそれは間違っている、それには賛成できないとオブラートに包むこともなく言われる時もあります。そんな時には相手の意見だけを取り込むのではなく、落ち着いて自分の意見と相手の意見を見つめ返す冷静さを保つことが重要です。考えた結果やはり自分が正しいと思うことも相手が正しいと思うこともあると思います。どうしても意見が食い違う際には考え方の違いだと割り切ることも私は必要だと思います。

少しきついことを言われたり、差別的な事を言われることも悲しいことではありますが時には起こります。私が留学していたのはサウスカロライナという保守的な田舎の地域だったので、差別的な考えを持った人たちもいました。年配の方だけでなくクラスメイトとのディスカッション中にも衝撃的な発言を耳にするような事もあります。私の友人の日本人での子でも授業中に無視をされたりしたこともありました。そのような事を体験してしまったり、体験談を聞いたりすると色々な場所に行ってみたり新しいことに体験してみたりすることを躊躇しがちになってしまうこともあると思います。私の留学していた大学は約 70 パーセントの学生が白人で、アジア人学生はたったの 3 パーセントでした。日本で育った日本人として自分がマイノリティーになるというのは初めての経験でした。新しい国で新しい人たちに混じって今までやったこともないような事に挑戦するのは勇気がいる事です。しかし、その緊張を乗り越えて自分の comfort zone から飛び出し、何事にも

挑戦することが大切です。

私は学内で2つのクラブ活動に参加していました。1つはインターナショナルクラブで、さまざまな国からやってきた留学生、また留学生との交流に興味のある現地の学生が所属しており、イベント行事を通じて交流を深めるというクラブでした。他の留学生とは同じ状況にいる者同士話も合いますし、アメリカ人学生たちは留学を控えていたり留学後だったり、様々な経験を持った人たちがいてとても興味深かったです。もうひとつはベリーダンスクラブです。幼い頃からダンス教室に通っていたこともあり、とても興味があったので留学開始1学期目から参加しました。インターナショナルクラブとは違い、ベリーダンスクラブは私以外全員現地のアメリカ人学生でした。共通の趣味を持った人たちと趣味を共有するのはとても楽しいことですし、練習や発表会を通じてメンバーとの絆を深めることができました。インターナショナルクラブの友人とも、ベリーダンスクラブの友人とも一生忘れられない思い出を作ることが出来ました。時にはクラブ内でもめ事が起きたりすることもありましたし、クラブ内の雰囲気気まずくなることもありました。その様な出来事も含めて海外で日本人以外の人たちと何かを大人数で行うというのはどのような事なのかということも学びました。日本で挑戦したことのあることでも違った国で、違った人たちと挑戦するというのは全く違った経験になりますし、学べることも違うと思います。何事も知っているからいいや、やったことあるからいいや、などと考えるのではなく挑戦するべきだと思います。

留学をすること自体が大きな挑戦ですが、留学後も挑戦は続きます。留学をすることが夢で、留学ができたから夢は叶ったと考えるのではなく、その先いかに留学生生活を有意義なものにするかは自分次第です。挑戦し続けるというのは体力が必要なことですが、疲れず頑張り続けましょう。